

「知」の集積と活用によるイノベーションの創出

【平成31年度予算概算決定額 4,335 (4,390) 百万円】

＜対策のポイント＞

農林水産・食品分野におけるイノベーションを創出するため、様々な分野の多様な知識・技術等を結集し、スマート農業技術等の研究開発を重点的に推進する提案公募型研究を実施します。

＜政策目標＞

- 開発研究ステージにおける実施課題の80%以上において、商品化・事業化が有望な研究成果を創出
- 基礎研究ステージ及び応用研究ステージにおける実施課題の70%以上において、革新的な技術成果や実用化につながる技術成果を創出

＜事業の内容＞

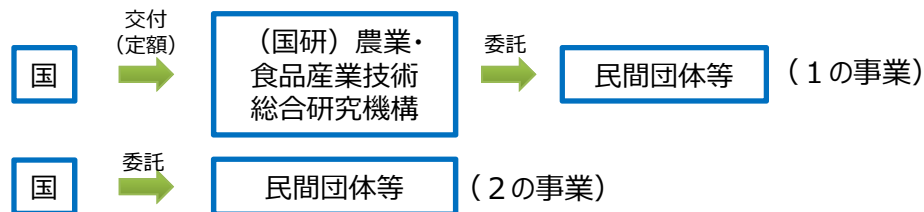
1. イノベーション創出強化研究推進事業（提案公募型研究事業）

- 農林水産業・食品産業の競争力強化に向け、スマート農業技術など革新的な技術・商品・サービスを生み出す研究開発を支援します。『「知」の集積と活用』からの提案など、異分野のアイデア・技術等を農林水産分野に導入する研究を重点的に支援します。

2. 「知」の集積による産学連携推進事業

- 「知」の集積と活用は産学官連携協議会の運営や、研究開発プラットフォームを統括するプロデューサーの活動、生産者と研究機関が技術交流するための研究成果の展示会の開催等、イノベーションの創出に向けた取組を支援します。

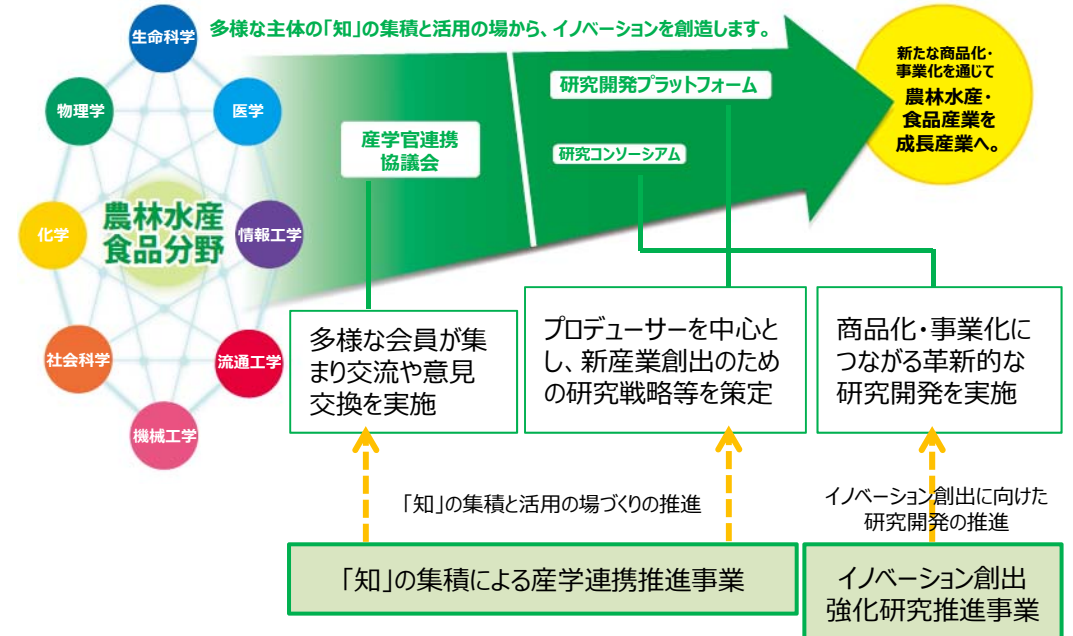
＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

「知」の集積と活用は

〔農林水産・食品分野に様々な分野のアイデア・技術等を導入した産学官連携研究を促進するオープンイノベーションの場〕

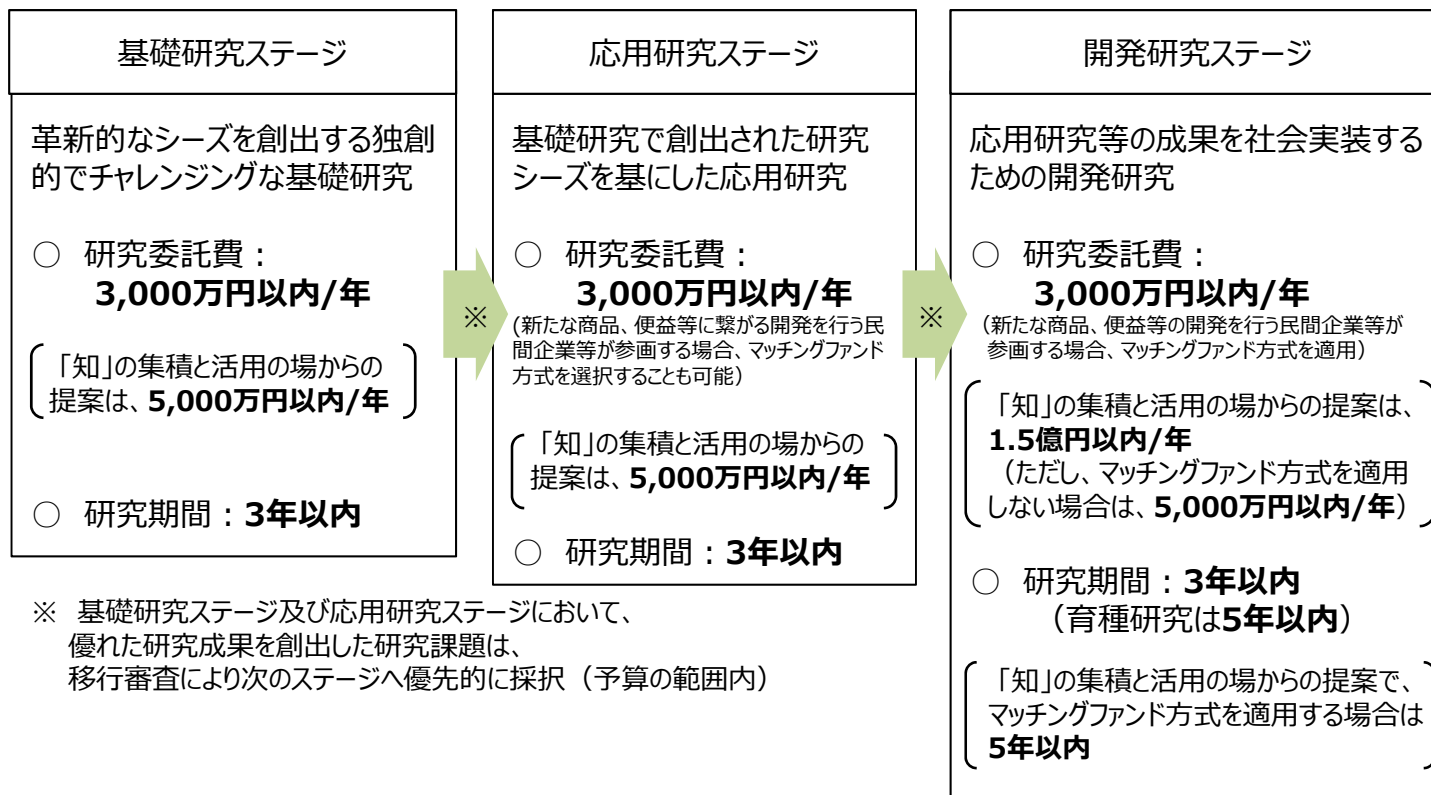


【お問い合わせ先】 農林水産技術会議事務局研究推進課 (03-3502-5530)

「知」の集積と活用によるイノベーション創出推進事業のうち イノベーション創出強化研究推進事業

【平成31年度予算概算決定額 4,080 (4,132) 百万円】

＜事業のスキーム＞



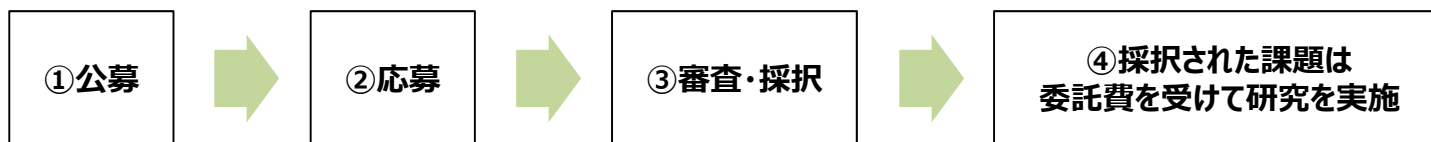
＜事業のポイント＞

- 「知」の集積と活用からの研究開発プラットフォームからの、多様な分野が参画する提案については以下の**優遇措置を実施**
 - 研究委託費上限額の拡大
 - 開発研究ステージにおいて**研究期間の延長**
 - 採択審査時に**加点**
- 応用研究及び開発研究ステージにおいて、**マッチングファンド方式を適用する提案については優遇**

※ マッチングファンド方式とは
新たな商品、便益等の開発を行う民間企業等が研究費の一定割合を負担する仕組み

※ 応用研究ステージについては提案者がマッチングファンド方式を任意で選択でき、適用の場合、採択審査時に**加点**
- 開発研究ステージにおいて、**スマート農業に資する技術の研究開発に係る提案については採択審査時に加点**

＜事業の流れ（研究課題の採択等）＞



【お問い合わせ先】 農林水産技術会議事務局研究推進課 (03-6744-7044)